

被爆者が綴った

わたしが憲法9条を大切に思うわけ

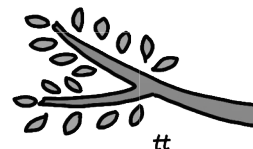
〈抜粋版〉



日本国憲法
第二章 戦争の放棄
第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



わたしからあなたへ
We love peace.



日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)は、「9条世界会議」に取り組むにあたり、会議に参加したくてもできない草の根の人びとの思いを大切にしたいと考え、全国の被爆者と支援者のみなさんに呼びかけて「はがきメッセージ」を募集しました。

この資料は、「9条世界会議」での配布用に、寄せられたメッセージの中から被爆者の言葉を抜粋してまとめたものです。

1カ月足らずの募集期間に全国から425通のはがきが寄せられました。この84%が被爆者で、そのうち80歳代以上が半数を超えていました。これは、大人の目で戦前・戦中・戦後を見てきた世代の被爆者たちで、体験に裏打ちされた「戦争は絶対するな」の思いの強さがうかがえます。

データ入力などの実務一切は、ノーモア・ヒバクシャ9条の会に集まるボランティアのみなさんが引き受けてくれました。

寄せられたメッセージの全体は、とりまとめて整理したのち、日本被団協のホームページをはじめ、ノーモア・ヒバクシャ9条の会のホームページでも公開する予定です。

日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)

〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-5 ゲイブルビル9階
電話 03-3438-1897 / FAX 03-3431-2113
<http://www.ne.jp/asahi/hidankyo/nihon/>

ノーモア・ヒバクシャ9条の会

日本被団協 気付
<http://www5.ocn.ne.jp/~for/hibakusha9/top.html>

2008年5月

■凡例

原則として、はがきに書かれたままの表記を尊重したが、明白な誤字・脱字等は補った。
名前のあとは（現住地／現年齢）。

はがきメッセージの応募にあたって、次の2項目を設定した。

- (1) わたしが憲法9条を大切に思うわけ
- (2) 戦争をしない、軍隊を持たないという憲法9条の理想を世界に広めるために、今とりくみたいこと、伝えたいこと

○戦争は二度としないで

小楨金一（岡山／81）

(1) 代筆。私は寝た切りの状態です。20年8月15日8時15分広島段原朝礼の最中原子爆弾投下兵隊さんがほとんど死に、1コ中隊の内3人残りました。

(2) 今は身動き1つ出来ません。戦争は絶対有ってはならぬ。妻が世話をしています。

荒牧令子（石川／74）

(2) 二度と戦争をしないで下さい。父母兄2人帰して下さい。

中山高光（熊本／79）

(1) 日本が侵略戦争をはじめて最後に原爆が投下された。侵略も原爆も許さない。再び被爆者をつくらぬ決意が憲法9条であると思うから。

(2) 「原爆が投下されてよかった。あれで解放された」との8割のアジアの人々に、日本の侵略戦争の反省と原爆被害を伝え、侵略も原爆も許さない連帯をつくるように努力したい。

長野サト子（広島／84）

(1) 二度と戦争をしない事

私の弟もたてものそかい〔建物疎開〕で〔亡く〕なりました。通信教育で憲法を勉強してますます平和と自由を子供達のためには私は自分だけでなく9条を身を持って守ります。

(2) 戦争の体けんを読みみんなに伝えて行きたいと思います。

原爆にあった事 弟をなくした事が一番です。

匿名（鹿児島／82）

(2) 戦争は人類めつ亡です。絶対に絶対にしません。絶対やめて下さい。

「戦争は地ゴク」

○私たちの苦しみは私たちに最後に

匿名（山口／88）

(1) 家ぞくに私が思った思いや、「不安」をさせたくない。

今でも病気勝で、子供たちに、「メイワク」をかけて暮している事を皆様がわかっているのかと思います。

戦争は、国民のテキです。

(2) 2度と戦争しない国、原爆によって、今でも年に2、3度は入退院をくりかえしている事です。

家族に、めいわくをかけている私です。

匿名（なし／82）

(1) 大正13年から昭和5年頃迄に生れた男女は、先の大戦中男性は軍に入隊、勤労働員で軍の施設建設等に血のにじむ悪条件で働かされ、女性も男性に劣らない働で夢中であつた。又敗戦後は失業、物価高、食糧不足等で死ぬ思いで生きて来た。だから憲法九条大切です。改憲論で抹消せず価値有る九条は存続すべきです。

匿名（三重／82）

(1) 二度と戦争はしたくない。あつてはならない。あのくるしみは自分たちで終わりにしたい。

○9条は被爆者の生きる支え

関千枝子（東京／75）

（1）戦争は民の暮らしを破壊します。私たち被爆者・原爆の生き残りの心の傷は癒えることがありません。肉親を、友を、師をなくした悲しみは、何十年たっても消えません。日本がこうした悲しみをアジアの国の人々に与えてきた反省も含めて……「絶対の平和」以外に、この苦しみ、悲しみをなくす道はありません。被爆者は叫びつづけます。核はいらない。戦争はいらない。戦争をするすべてのもの、軍隊も人殺しの武器もいらない。

藤田晴子（京都／75）

（1）戦争はどんな大義名分を並べても人の殺し合いです。地球より重いといわれる人の命を大切にし、武力をすべて放棄して、平和を作り出すというすばらしい憲法です。戦争や原爆のつらい、苦しい思いをした私達にとってかえがえない憲法です。

（2）今の日本で沢山の「9条の会」が出来ていますが、これらの会が思想信条を越えて、横のつながりをたもち、団結して「9条」を守りつづけていただきたいと思います。そして世界憲法にして世界を平和を願っております。

六岡幸路（神奈川／78）

（1）あの「大東亜戦争」で、敗戦の時16歳、旧制中学四年の私。「神風が吹いて日本帝国は必ず勝つ。天皇へご恩返しに学業をなげうって、工場で働く、米英に負けると男はドレイ、女はメカケにされる、大日本帝国は東亜の盟主だ、日出づる国だ。」が完全にウソだと目が覚まされました。おまけに、原爆で中学1年の弟は殺されました。前日弟とケンカしたことを未だに悔んでいます。そのためにも「9条」は絶対に守るべきです。

篠塚潔（広島／63）

（1）戦争の放棄、戦勅不保持と交戦権の否認を定めた憲法9条は私の理想であり、人類の生存と恒久平和可能とする具体的な権力を持つ条文として大切です。1944年生まれのゼロ歳被爆者で、46歳から心筋梗塞やがん、副甲状腺昨日亢進症等でベッド上での闘病専一の暮しとなり、憲法9条による平和が私の生存の総てとなり大切です。2人の息子も独立して働き、戦争にかわりもなく暮して憲法9条に感謝です。

○ふたたび被爆者をつくらないために

水野秋恵（愛知／67）

（1）先の戦争で余儀なく非業の死を選ばなければならなかった多くの人々。再び被爆者をつくらない。非業の死を選ばなくても良いと、世界にむかっての約束です。

武力ではなく話し合う、平和な社会はつくれるはず。9条は亡くなった人々の生命です。

（2）被爆の実相をあらゆる工夫と努力（話すだけでなく、目に見える資料）をしたい。カナダの9条の会、スリランカ9条の会、韓国でも、ベトナムでも、9条を世界の人々に知らせる人達とも連帯し豊かな広がり活動と活動を求めてゆきたい。

田栗末太（神奈川／82）

（1）原爆で両親を亡くした私は、再び私のような被爆者をつくってはならないと思います。戦争と核兵器は人類を滅ぼします。従って、平和を求め、非武装・不戦の憲法9条を大切にしたいと思います。

（2）核戦争の真実を知らない政治家や多くの人が軍隊をもち戦争をすることを考えていると思います。9条の理想を広めるために、私たち被爆者は自らの経験した原爆の悲惨、非人道の真実を国の内外に伝えなければならぬと思います。

森律子（福岡／68）

（1）被爆国である日本人として、被爆者として、これ以上のつらい人生を送って欲しくない人生を大きく狂わされ人間としてまともな一生を送って欲しいと思うから戦争はしない軍隊は持たない。戦争の被害者になりたくない。ならせたくない。

（2）平和がこんなに幸せかと解って、まず近くの親子、親戚、ご近所、地域、国、外国と手に手を繋いで自分の幸せの為に、平和が一番と声を上げて行こうではありませんか。

石原ケイ子（兵庫／78）

（2）被爆者としての苦しみをもう誰にも味わってほしくない。みんなが笑ってくらせる世界になってほしい。戦争地域への自衛隊のハケンを反対します。

久保ミツエ（兵庫／78）

（1）戦争を体験した人間は2度とあの思いをしたくない。させたくないと思っている。原爆・被爆体験をしながら助かり今まで生きている。どんなことがあっても戦争を繰り返すことがあってはならない。そのためには第9条を絶対守らなければならないと思う。

（2）戦争を知らない世代に戦争、ヒバク体験を出来る限り広く語り伝えること。どんなに小さな個々の力も、より集まって協力し合えば大きな力になることを語りたく、小学校などで語り部活動をしています。

三代寿生（大分／78）

（2）戦争を体験した我々世代の取り組むべきことは、特に、被爆者としてその残酷さを次世代に語り継ぎ、非核三原則を断固として守り抜き、平和を構築するため、絶対に憲法9条をなくしてはなりません。

○9条あればこそその63年の平和

匿名（山口／被爆時15）

（1）日本に9条があればこそ、こんなに長く平和で有り、戦争という人殺しがなくて夜も安心して居れたのです。ぜったいに9条は守らねばと思います

（2）63年被爆者で片目、日本が戦争をしてなければ原爆症でこんなに永く苦しい思いもなかったらうに。

30年、戦争反対の講演をして、いかに戦争がむごいかを声を大にしてさげびました。今は老人に成って体がついて来ません。

中瀬利夫（愛知／83）

（1）わたしは旧軍人の体験者です。もう一つは世界中で日本だけが、おとされた原爆のおそろしさを、この目で見て、その原爆の被爆者の救護活動をこの手で2週間近く看護をやって来ましたものです。あの姿いまだに夢を見る事のあるです。63年間も平和にまもって来た日本憲法9条はまもるべきです。

茂呂祐三（茨城／87）

（1）世界最初の核兵キの原爆のヒバク者でありそもそも戦争とは其の手段を選らばず弱い層の無差別の攻撃によるものであった事、東京の大空襲に於いても10万もの市民が焼き殺されて行った。其の他の大都市も殆んど廃墟と化してしまった。特に原爆被害の残虐極まり状況を知ることによって戦争終決、無条件降伏のポツダム宣言受諾に到った。あれから63年、平和憲法の九条があつてこそ戦争放棄をなせる為め、戦争によつての死はなかったのである。

匿名（長崎／82）

（1）60余年もの平和な暮しが出来たのも、憲法9条のおかげだと思っています。世界遺産よりも大切な宝物、どうか子や孫の為、世界中の平和の為に、9条をおまもり下さい。

○戦争の反省に立って

吉崎幸恵（福岡／67）

(1) 私の叔父は海軍、陸軍でともに戦死。大正元年生まれの母は、その報を聞いたとき「弟は返せー！」と心の中で叫んだという。子どものころから仏壇におまいりする度、母から聞かされた話が耳にこびりついて離れず、白い水兵服と軍服姿の2枚の写真が、「戦争反対！」とていつか私には思えた。

16歳のころ、姉にくっついて参加していたサークルで、先の大戦が「侵略戦争」であり、アジアの人々約2000万人、国内の犠牲者は300万人以上と知った。

私自身も5歳児の何も知らない中で、核戦争の犠牲にさせられた。両親ともに癌で死亡。姉も乳癌。被爆二世の妹は甲状腺機能低下症で、日々、病と闘っている。今度は私の番かと不安が消えたことはない。

「9条」がある限り、自国から仕掛ける戦争は繰り返されないはず。「憲法9条、握って離さず」。青年時代から学んでつかんだ、これが私の信条である。

(2) 日米軍事同盟のもと、アメリカが引き起こす戦争に日本を組み込むという、そのために「9条」を変えさせようとしているのがアメリカ。その要望に沿って動いている改憲派。自衛隊を「自衛軍」という軍隊に変え、米軍の補完部隊として駆り出そうと計画したアメリカは罪深い。戦争、原爆の被害者がその実態、実相を語り継いでいるように、アメリカが世界支配目的のため、イラクやアフガンなどで先制攻撃戦略を繰り返している事実、これが地球的規模に拡大されないよう米軍の狙いを世界の隅々にまで訴え、孤立させること。「9条」の精神を世界中に広めること。「愚かな戦争は人類と無縁」であることを語って語って語りぬくこと。そのために地域の小集会から始めていければ。気が遠くなるほどの大仕事のようにも、積み重ねが大事だから、と思う。

北野昭三（福岡／80）

(1) 戦争の結末が原爆であった。戦争をしないための現行憲法9条は平和のための至宝である。
(2) 学校を中心に戦争、原爆、平和について語り部活動を行っている。さらに範囲を広げたい。

中村英光（福岡／80）

(1) 原爆投下、敗戦が非戦の理念を私たちに与えた。戦争の加害者であるとの反省にも立った。生命を殺し合うことが戦争であり、その最たるものが原爆（核）であると考えている。

このあさましい人間の行為は絶対に無くすべきものであり、その盾の形が憲法9条であると思う。9条の理念をもっと世界に広げるべきである。

(2) 日本の軍事大国ぶりを直視する。なぜ、こうなったか、深刻な反省を国民がやること。総ざんげである。そこから理想の9条にどのように近づいていくか。今の9条は空念仏でしかない。日本人そのものが戦争の反省というみそぎを十分に行っていない。世界へ広めることより、もっと自らを省みる努力をしよう。

満田誠二（新潟／75）

(1) 日本国憲法第9条が、世界恒久平和を願うシンボルである事は論を待ちませんが、これが画に書いた餅にならない様にする為の具体的な運動展開が必要な事も当然です。その大前提として、この地球上に存在する全ての国及びそこに住む人間が、各々のエゴを捨て切れるかの一点にかかっていると感ずます。もう一度広島平和公園の碑文「過ちは二度と繰り返しません」の誓を一人一人がしようではありませんか。

日隈眞壽男（福岡／62）

(2) 戦争をするということは、戦争責任を負うことでもある。日本国が犯す犠牲者の生命、国民の人生をどう償うと言うのか。

日本の戦没者だけでなく、外国の犠牲者も同

時に償うこととなる。

軍隊を持つということは、そう言うことであると思う。生命は償うことは出来ないと考えます。

匿名（埼玉／67）

（1）戦争は間違いだったと認め、深く反省するからです。始めた権力者は勿論、動いた国民、全員で戦争に反対しなかった国民にも一部責任があるのです。

9条は平和の方向にあると思うから、守りたいのです。60年余り経っても、まだ戦争の悲劇は続いているのです。権力者に任せず国民が意志表示すべきだと思います。

（2）国防と力説する政治家、権力者は、国民の為に言っていない。そうした方が、権威が保てたり、経済的にうるおったり等で決定しているように思う。お金に大きな価値を持たせて、心が失われつつある今。倫理、心理、義務等、人間として大切なことを広く知らしめる時代だと思ふ。一体日本はどうしたいのでしょうか。

○9条でこそ平和は守れる

楠本熊一（和歌山／83）

（1）憲法にうたわれている国民の人権も国民の財産の保障も、すべて憲法9条があって成りたっているものと思う。憲法9条がなくなれば、私達の人権も、財産も風前の灯となり、私達の子や孫が人殺し集団にさせられてしまうからである。

憲法9条は単に外国と戦争をしないというだけのものではない。私達の生きる信条において暴力絶対否定の思想につながるのである。

（2）国民（日本の）の成人した人はすべて「憲法9条を支持する」というバッジを胸につけることを推奨する。そしてその事実をマスコミを通じて世界の人々にアピールすること。バッジは鶴バッジがよろしかろう。

中村治弘（北海道／84）

（1）沖縄戦での教科書検定意見に関する問題も、東京大空襲の遺族の方々の賠償提訴の問題も、被爆者認定審査基準見直し云々の問題も、憲法9条が確立しておれば何もなくて済んでいる事柄だったのです。日本だけでなく全世界の最も一般的な共通認識となって欲しいものです。

（2）被爆者の1人としては、自分の被爆体験談を出来るだけ沢山の人に、沢山の機会を得て語り伝えることをするしかないと思っています。只喉頭ガンの再発処置のため遠からず声を失うこととなりますので、そのあとどのような方法で体験を伝えて行けるかを考えて参ります。

今田斐男（長崎／79）

（1）長崎原爆で大切な父は行方不明となり、私の中学時代の友人の多くが犠牲となりました。この犠牲を無にしない為に私がすべき事は九条を日本から世界に発信していく事です。

（2）軍隊を持たない為には防衛省ではなく平和省を設けて、日本から世界に平和を広めていく努力をすべきだと思います。

久代讓（岐阜／79）

（1）自分の決意として戦争より平和で、自分も国民も国も守れる、それを示す九条を自分も守る決意。

広田金治（新潟／81）

（1）戦争放棄、軍隊を持たない憲法9条を変へたら日本は再び戦争をする国になるかも知れません。日本丈でなく世界が平和でなくなるかも知れません。

其の為に第9条はどうしても守らなければなりません。

匿名（三重／66）

（1）「9条」全く賛成です。

いかなることがあっても守るべき、全世界に誇

れる法律だと思っています。

(2) 攻撃、侵略をおそれ、自衛の為と、核を持つたり、軍備をしたりしますが、これではいつになっても世界平和は実現できないと思います。極端かもしれませんが、理不尽な攻撃を受けたとしても、報復しない、受け容れる。人類は、そんなにもおろかではないと、信じたい。やられたらやり返す〔のは〕、止めたらいいと思いません。

匿名 (佐賀／68)

(1) 原爆投下後、60 有余年、父を原爆で亡くし家族も全員被爆しました。祖母も終戦後 2 年以内に亡くなり、どん底の生活を体験しました(祖父、母、兄弟 4 人が残されました)。憲法 9 条があれば、こんな結果にならなかったのと思えば、もうこれを後世に残すしかないと考えるところです。あの戦後の事を思う時、もう我々でこの苦勞を最後にしてもらいたい。

(2) テロを防止する為にとかに名を借りた政府の政策は、自衛隊〔防衛庁〕を防衛省に昇格させたり、イージス艦の増強に見られる通り、「ミサイル防衛政策」等によって軍事化に近づきつつあります。

戦争は 2 度といやです。今、自分が爺になり、孫をあやす度びに、この子等を守ってやらねばと思うところです。

匿名 (なし／67)

(1) 戦争に反対ですから、それを守ってくれるのが憲法九条であると思っていますからです。9 条がなくなったら、又昔のように、私たちが真実を知らないうちに、戦争の道へ走り出すことが手にとるように見えています。それだけでなくも拡大解釈されて自衛隊までもっているんですから。

(2) 毎日といわずとも週に一度は TV、新聞などで 9 条がどれほど国民を守っているかということを発表してほしいものです。耳にタコができるくらい、9 条の大切さを伝えてほしい。戦争の悲惨さを世界にうたえることが一番だと

思います。ベトナム、カンボジア、イラク等まだまだあります。常にニュースで流すことです。

○核兵器も戦争もない平和を次世代に

細井裕昭 (東京／80)

(1) 被爆者息絶ゆるも尚語り続くべし。

(2) 世界の国々が武器を持たない。丸裸になるう。

前座良明 (長野／87)

(1) 私が数十年間いろいろなことをやってきたけど、ただただ子供や孫たちを戦争に巻き込むではいけない、被爆者にしてはいけない。自分と同じ目に合わさないためにどうすれば良いかということに尽きる。

憲法 9 条の 2 項には、今後絶対に軍隊を持たないし戦争もしないという誓いと共に、日本が起こした侵略戦争で多くの国の人たちに対して、大へんな加害者だったことを反省し素直に謝罪していることでもある。

憲法 9 条を無くしたら、一切の歯止めがなくなり、それでなくてさえ軍隊ではないと云いながら作りあげている世界有数の軍隊を益々強大なものにすることは目に見えている。そして紙切れ一枚で若者が戦場に駆り立てられ次々と殺されることになる。

今、憲法 9 条を変えようとしている人たちは、自分の子供や孫たちを平気で、殺されるということ承知で戦場に送ることができるのか、それを承知で 9 条を変えようとしているのか、そのあたりを、はっきりきいてみたいものだ。

冒頭の思いを貫くためにも絶対に憲法 9 条を死守しなければならないと痛感している。

(2) 「下手な鉄砲も数打ちゃ当る」「時かぬ種は生えぬ」

昔、日本原水協で「百万人集会」というのをやったことがある。

いつでも、どこでも、誰とでも、人数の大小は問わず話し合いの場をもった。とに角一人でも多くの人に真実を知ってもらい、「今日の聞き手

は明日の語り手」ネズミ等のように次々と、その輪を広げていくことが絶対必要。

そして「ノーモア・ヒバクシャ9条の会」の呼びかけ人でもある、中澤正夫先生の云われた「ねぶた」の「跳ね人」のような「跳ね人」をたくさんつくることだ。

所詮戦争は人と人との殺し合い。良い戦争なんかあり得ない。

絶対悪の戦争は絶対にやってはいけない。

みんなで跳ねつづけ憲法9条を死守しなければならない。特に若者に云いたい。気がついたときには、もうおそいのだ。と

匿名（福岡／66）

(1) ～ (2) 戦争の放棄掲げている9条は絶対に守らなければいけない。

非核3原則は日本として永久に守らなければいけない。

核保有国が、インド、パキスタン、イラン等、多くの国が核武装して国を守ろうとしているが唯一の被爆国である日本は世界に核の恐ろしさを訴へ続けなければいけないと思う。

被爆者は高齢化していて、この世から消へていくのであるが、将来の有る、青少年達には、2度と過去の惨事を受けさせてはいけない。世界の永久平和を今こそ訴へなければいけない。

鈴木志郎（福岡／65）

(1) 子や孫の代までこの美しい地球を核戦争によって破滅することから守るため戦争をしない、軍隊を持たないというこの憲法9条を大切にしたい。しかし現実には堂々と原子力潜水艦や空母が入港している。弟達が体を張ってエンタープライズ反対のデモをやったことは無駄だった。しかしあの精神は守っていききたい。

(2) 私は第二次世界大戦や原爆の投下についてまだ幼児で記憶にはないが3月6日付の『被団協』の記事のように『今日の聞き手は明日の語り手』の通りいろんな方々の体験をお聞きし次の時代の中継ぎとなって伝えていくことが必要と思う。今は聞き手となろう。

安田敏子（広島／81）

(1) 昭和20年8月6日を忘れる事は出来ません。日本の国民全体で9条を守り、あのおそろしい戦争のない平和を次の世代の人に渡して上げたい。次の世代の人も、戦中戦後の苦労はよく知らなくても、力を合せて9条を守り、世界の平和になる様心掛けて下さいとお願いします。

花垣ルミ（京都／68）

(1) '07-4-17、伊藤一長前市長の衝撃的な事件のあと、お悔やみをかねて、始〔初〕めて長崎の平和大会に参加した。出船、入船で賑わったであろうこの街に…。資料館は、広島の資料館より、展示物が悲惨なものが多い。一枚のパネルの前で、長い時間、立ちすくんだ。朽木のような、雷の直撃を受けて落ちた枝のような、子供さんの遺体、私には、その子が泣き叫んでいるようにみえた。一緒に長い間泣いた。62年もの間、こんな姿を人目にさらして、この子の人間としての尊厳は…。胸がしめつけられる思いの中で、この子が訴えていることの意味を理解したように思えた。「又、逢いに来るからね。その時は、良い報告のおみやげを持って…。核不拡散、9条護憲一、私達の背中をどんどん押してね」。

私は、子供のうしろ姿が好き！ 無防備な、そのうしろ姿を、ずうっと見続けていきたい。「合掌」

匿名（愛知／77）

(1) 戦争は悲惨です。私の身近な人も多く亡くなりました。私も思春期を原子爆弾という非人道的な兵器で傷つき、多くの友を失いました。子、孫にこの日本のすばらしい憲法9条を伝えて行くつもりです。

(2) 現在の政権は憲法改正だ軍備だと声が聞かれますが世界に類のない非武装、この平和を命を張って守る所存でございます。